

陸軍四四府中二四二名
陸軍四四府中二四二名

內閣書記官

內閣書記官長

右右吉後宮廳より具狀申越るを奉詔下へし

陸軍警守後備地軍中兵士等兵団中兵士郎
召集見除、件迄可、

陸軍一軍七月

裁出所、記豫備地軍砲兵士、兵士、鐵工郎、
一名、以下、又、

令上

陸軍大砲隊

通信事務官、豫備地軍二等計、年田邊、沼通、
以下、又、

令上

令

令

通信技手、豫備地軍工兵、軍曹、中川利一、
以下、又、

令上

令

通信手、豫備地軍步兵、士官、尉、加、兵、士、
以下、又、

令上

令

通信手、豫備地軍工兵、士官、兵、士、
以下、又、

令上

令

通信手、豫備地軍工兵、士官、兵、士、
以下、又、

今上

陸軍大臣陳

警視廳巡查陸軍補充員由安河一 以下令文

今上

大政府巡查陸軍補充員石川雄三外三君

以下令文

今上

和歌山縣巡查陸軍補充員原楠次郎外君

以下令文

今上

秋田縣巡查陸軍補充員上野兵八木傳策
外三君 以下令文

今上

愛媛縣巡查陸軍補充員一色新造郎外君
以下令文

今上

新潟縣巡查陸軍補充員河久津又三郎外君
以下令文

今上

今縣巡查陸軍補充員一尋大田清作 以下令文

神奈川縣坐落後任佐軍中少軍曹三平君三郎
以下令文

岐阜縣坐落後任佐軍中少軍曹三平君三郎
以下令文

神奈川縣坐落後任佐軍中少軍曹三平君三郎
以下令文

岡山縣坐落後任佐軍中少軍曹三平君三郎
以下令文

山口縣坐落後任佐軍中少軍曹三平君三郎
以下令文

海軍大臣 通達

陸軍省 陸普第 二二四九 號

明治三十二年七月

陸軍大臣子爵寺内正毅

内閣總理大臣信貴西園寺公望殿



陸軍 陸軍省

右の第十七師団は法官部ニ奉發シ餘人ヲ以テ代フ
ヘカウサハ者ニテ名義揚演習及簡閱點呼免
除お事ハ此ニ其申上也

陸軍

陸

勤務演習簡閱點呼召集免除之儀ニ付キ稟請
 甲府聯隊區所管
 豫備陸軍砲兵上等兵
 横濱區裁判所神奈川出張所勤務
 裁判所書記 山本鐵五郎
 福岡聯隊區所管
 世五年補充陸軍砲兵上等兵
 福岡區裁判所老司出張所勤務
 裁判所書記 東 貞太郎
 台ハ勤務演習簡閱點呼召集ニ應スヘキ
 者ニ有之候處裁判所書記ハ裁判所構成
 法上餘人ヲ以テ代フ可カラサルノミナラス各本

勤務演習簡閱點呼召集免除之儀ニ付キ稟請
 甲府聯隊區所管
 豫備陸軍砲兵上等兵
 横濱區裁判所神奈川出張所勤務
 裁判所書記 山本鐵五郎
 福岡聯隊區所管
 世五年補充陸軍砲兵上等兵
 福岡區裁判所老司出張所勤務
 裁判所書記 東 貞太郎



司法省職貳第一七一號



人ハ定員二人以内、廳ニ在勤シ即チ懲兵令第
二十四條ニ該當スル者ト認メ候間在職中召
集免除相成度此段請認可候也

明治四十一年七月三日

司法大臣男爵千家尊福



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

在兵籍巡查勤務演習及簡閱
點呼召集免除具狀

豫備海軍三等兵曹 千田忠吉

福島縣平民

豫備陸軍騎兵上等兵 鈴木留四郎

宮城縣平民

豫備陸軍步兵上等兵 齋藤福次郎

東京府平民

豫備陸軍工兵上等兵 京極國之輔

長野縣平民

後備陸軍憲兵上等兵 吉江昇

1098-2

豫備陸軍歩兵一等卒
宮城縣平民
牧野與藏

豫備陸軍歩兵一等卒
同縣平民
佐々木清三郎

豫備陸軍工兵一等卒
茨城縣平民
菊地金司

豫備陸軍歩兵一等卒
千葉縣平民
高木惣治郎

豫備陸軍騎兵一等卒
香川縣平民
糸川嚴磨

豫備陸軍歩兵一等卒
福島縣平民
森門六

豫備陸軍輜重輸卒
東京府平民
氏家榮之助

豫備陸軍輜重輸卒
宮城縣平民
芝田敏造

陸軍補充兵
同縣平民
邊見伊惣之允

陸軍補充兵
同縣平民
戸澤定治

陸軍補充兵
東京府平民
中村佐太郎

陸軍補充兵
福島縣平民
木島喬藏

陸軍補充兵
赤石澤正義

陸軍補充兵 福島縣平民 遠藤國充
陸軍補充兵 群馬縣平民 長山本司
陸軍補充兵 富山縣平民 柴田亀次郎
陸軍補充兵 山形縣平民 齋藤金助
右者 目下當廳巡查奉職中ニシテ
職務ヲ奉スルニ有之候條勤
務演習及簡閱點呼召集免除ノ儀
御認可相成度此段及具狀候也

明治四十一年六月十一日

北海道廳長官河島

醇

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内閣總理大臣大隈重信

北條實業卿官邸

明治四十一年六月十一日

陸軍部 二五七六

香川お平氏

六月十一日召集免除

陸軍部兵一等卒（日休兵）系川殿唐
月日召集免除官邸お平氏

陸軍部兵一等卒（日休兵）佐々木清三郎

右者目下留座に在りて中ナリテ

勤勞演習及尚閑点呼召集免除

除、候々頭出、月日以下は認可外

其又同人系川殿唐月日以下は認可外

兵、軍籍ニアリモノミテ免除シ受クハ

カウリモノコトヲテ回致見致付

テハ該満期ヲ付テ果シ免除見致付

可致矣
牛乳
明治十一年七月十七日

北海道廳長官河島醇

内閣總理大臣桂太郎殿

急

發兵第三三號

明治十一年六月八日

石川縣知事村上義雄



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

召集事務ヲ管掌スル者ノ件

ニ付具狀

左記本縣事務官片岡文理ハ本縣
内務部第三課長シテ召集事務ヲ
管掌シ餘人ヲ以テ代フヘカサル者

ニ付陸軍服役條例第百六十四
條ニ依リ勤務演習及簡閱點

石川二〇四

呼免除方御認可相成度矣也

現職職名	兵役	官名兵種等次	本	籍	氏名
石川縣事務官	豫備役	陸軍三等計手	京都府何麻郡以久田村大字栗		片岡文理

陸軍省 陸普第三〇六五號

明治四十一年六月十三日

陸軍次官男爵石本新六

内閣書記長南 江 辰



送第六〇八號 石川縣事務官
片岡文理 二等計手片岡文理
初任及簡閱点呼免除ノ義ニ
付片岡文理ニ起リ第石川縣
知事具狀ノ通認可セリ可ク



右ノ少及及口谷ノ
色ノ少及及口谷ノ

品甲二〇四

明治四十一年六月十日

内閣書記官長公

内閣書記官



陸軍次官へ照會案

別紙石川縣知事具狀同縣事務官豫備陸軍
二等計手片岡文理勤務演習及竹間閣點呼
召集免除ノ件、認可セラル可然ト存候得共
為念一應及御打合候間至急未回答相成
度候也

明治四十一年六月十日

内閣書記官長

追テ別紙ハ決回答、降伏返却相成度候

警備第五八師

尤記者多府迄本奉職中陸軍勤務廣西元簡院
照呼召集免除、義勝認可相成度候具伏其也

明治四十一年六月十二日

大坂府知事高崎親章

内閣總理大臣信濃一田園寺公望殿

左記

鳥取知西伯郡御素屋所七三午一為地平式

高崎陸軍歩兵上士

中田平吉

府見島知始良即二浦生村上久徳三百三十四多戸士族

予備陸軍少佐 上野白

伏
竹
弄
酒

大坂幕大坂市北區西錦田大野所
下目九三十一番地
野中竹次郎

鳥取朝山新刊并保村大工叶村十九番尾張市氏

陸軍少佐の二名を補充す

山田後乙

陸軍步兵第一師

紙衣藏

後降陸軍生三軍甚長

田中席太郎

不憚陸軍輜重艱辛

木下之市

今就令卸宜廉本支裕充軍需以爲民
陸軍省兵二萬五千補充兵

宮見宮一

愛媛縣越智郡波

我清太即

后常陸守上兵衛

字老

后漢書卷之五

南鄉武次

陸軍勅諭新刊

宮下次郎右馬

后篇陸軍山六二 等六

田村壽太郎

陸軍砲兵學校

多田卯平

臨川初勝田初北去野村大東漢本千七百三十二本及下之

[illegible]

警收第三四一號

六庫縣平民

補充陸軍步兵二等卒

巡查山崎愛三

右令般本縣巡查、採用致候處須臾、其勤務ヲ欲キ難
リ旦ツ餘人ヲ以テ代フ可ラキニ義ニ付本縣巡查主職中
勤務演習簡閱點呼召集免除之義御認可相成度
陸軍服役條例第一百六拾四條ニ依リ此段及稟請候也
明治四十一年六月十三日

兵部



內閣總理大臣 西園寺公望 殿

埼玉縣知事嶋田剛太郎



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

一發第八七一号

兵籍在者守召集免除之儀上申

茨城縣平民

後備役陸軍歩兵軍曹

勲七等助川與三郎

同縣平民

陸軍補充歩兵一等卒

勲八等萩原雄忠

同縣平民

陸軍補充歩兵二等卒

勲八等高須幾之助

右之者共當水戸監獄看守三採用候三付在職
中勤務演習簡閱點呼、為、召集免除相成

候様致度此段上申候也

明治四十一年六月十三日

水戸監獄

典獄永田直之丞



内閣總理大臣候爵西園寺公望殿

一發第八七九

召集免除者解職之儀報告

福島縣士族

豫備役陸軍歩兵上等兵

三瓶政賢

右者看守奉職中勤務演習簡閱點呼、為
召集免除之儀明治三十六年六月八日御認
可相成居候處本月十三日當水戸監獄看守
免シ候條此段及報告候也

明治四十一年六月十五日

水戸監獄

典獄永田直之丞

